

# 令和4年度第1回前橋地域保健医療対策協議会 議事概要

○日 時：令和4年7月20日（水）13：30～15：00

○場 所：県庁 昭和庁舎 34会議室

○出席者：前橋地域保健医療対策協議会委員17名中15名出席（内2名代理出席）  
事務局4名、その他関係者、オブザーバー、傍聴者

## 1 開 会

## 2 あいさつ

## 3 議 事

### 議題（1）次期保健医療計画における二次医療圏のあり方について

○資料1-1から資料1-2にもとづき、事務局から説明。

○意見、質疑等の概要は次のとおり。

（委員）

- ・渋川、吾妻・利根沼田地区では、周産期の対応ができる医師が非常に少なくなってきた。唯一、利根中央病院が対応している状況だが、県は対策等を考えているか。

（事務局）

- ・利根中央病院とは連携して医師確保の対策を進めている。また、群馬県周産期医療対策協議会等もあるため、今後検討していくべきと考えている。県としても、喫緊の課題と認識しており、今後も医師確保に向けて取り組んでいきたい。

（委員）

- ・二次保健医療圏は、10医療圏のばらつきが大きく、保健医療圏毎に医療が完結していないので、早急に見直すべきである。例えば、保健医療圏について何か方向性を出したときに、首長から反対の意見が出た場合はどうなるのか教えてほしい。

（事務局）

- ・首長は地域の医療を守っている立場であり、地域の住民の声を代弁する立場である。保健医療圏を考える上で重要なのは、地域で一体となって医療提供体制を考えていくことであり、反対する首長が複数いる中で保健医療圏を変えるのは、難しいと考えている。以前、5保健医療圏への変更を検討するため、各地域の意見を聴取した際、様々な意見が出たことも踏まえて、今回は県から案を示すのではなくて、地域の声を聞きながら、検討を進めていくこととなった。

## 議事（２） 地域医療構想に関する今後の進め方について

- 資料２－１から資料２－２にもとづき、事務局から説明。
- 意見、質疑等の概要は次のとおり。

（委員）

- ・地域医療構想を進めるにあたり、厚生労働省が示した指標について、偏りがあることも認識した上で、議論していただきたい。また、前橋地域には、県内でも一所懸命やっている医療機関があるので、そのような点も認識してほしい。

（事務局）

- ・県としても、地域の医療機関のあり方について、データ等を用いて国に発信していきたい。

（委員）

- ・令和元年９月の厚生労働省の再検証リストに済生会前橋病院が掲載された。ただ実情としては、特定の診療において、県内・国内トップクラスの治療実績がある。小児産婦人科は群馬大学や前橋赤十字病院、群馬中央病院で役割分担を行っており、済生会前橋病院の小児周産期の医師は引き上げられていたため、小児周産期の実績がなかったことで、県内トップクラスのがん治療実績があるにも関わらず、厚生労働省の再検証リストでは名前が挙がったのではないかと考えている。

## 議事（３） 外来機能の明確化・連携について

- 資料３－１から資料３－３にもとづき、事務局から説明。
- 意見、質疑等の概要は次のとおり。

（委員）

- ・紹介状なしで受診する患者の初診・再診について、一定の点数を保険点数から控除することは、医療費削減の隠れた点であり、皆様には御承知おきいただきたい。

（委員）

- ・地域医療支援病院と紹介受診重点医療機関は別のものか。

（事務局）

- ・別のものになる。そのため、各医療機関の役割等を踏まえて、本協議会で議論していただくことになる。

（委員）

- ・別物ということは、両方標榜することはできないのか。

（事務局）

- ・両方を標榜することが可能である。

（委員）

- ・地域医療支援病院からすると診療報酬上のメリットはなさそうに感じるが、紹介受診重

点医療機関にはなった方がよいのか。

(事務局)

- ・制度のメリットデメリットは、病院によって異なると考えている。医療機関の医事課等、経営を担当する課と相談した上で、検討していただきたい。

(委員)

- ・紹介受診重点医療機関はあくまでも自由意志だが、意向と医療資源を重点的に活用する外来の基準が一致しない医療機関については、地域の協議の場の資料として提出されることが想定される。地域医療支援病院はおそらく医療資源を重点的に活用する外来の基準に該当するため、手挙げをしないと本協議会に招集される可能性がある。

#### 4 その他

(委員)

- ・公立・公的病院について、新型コロナウイルス感染症の対応では大変お世話になり、感謝している。一方で、周産期医療の75%は民間医療機関が担っているにも関わらず、群馬県周産期医療対策協議会の委員は公立・公的病院のみとなっている。民間医療機関についても、目を向けていただきたい。

(事務局)

- ・周産期医療における民間医療機関の役割については重要であると認識している。

#### 5 閉会